

外来担当医表

病院広報誌 秋号 No.39

		月	火	水	木	金	土
午前 9:00~12:00	内科	青山(龍) 高見	市原 田邊	松本 山口	市原 青山(龍)	松本 青山(龍)	市原 松本
	整形外科 外科	岡庭	岡庭	岡庭	岡庭	院長 岡庭	第1.3院長 第2.4.5岡庭
	小児科	長江 木村	長江	長江 木村	木村	長江 木村	長江 木村
	検査	胃カメラ 腹部エコー 松本			胃カメラ 腹部エコー 松本 頸動脈エコー		
午後 14:00~16:00	内科	市原	青山(龍)	市原	松本	山本	
	整形外科 外科						
	小児科	長江	長江	予防接種 乳児健診	木村	木村	
	検査	大腸ファイバー 松本・田邊 頸動脈エコー	心エコー 市原	胃ろう交換 工藤・松本 頸動脈エコー	心エコー市原 シャント・ PTA		
夕方 16:30~17:00	小児科	予防接種				予防接種	
夜間 17:30~19:30	内科	市原 第1.3.5越野 第2.4代務医		青山(龍) 小坂		松本 第1.3.5野口 第2.4杉山	
	整形外科 外科	岡庭		勝野		院長 岡庭	
	小児科	木村		木村		長江	

周辺地図



<職員募集> 看護師・准看護師・薬剤師・臨床検査技師 募集中 担当 益田・菊池まで



病院広報誌 秋号 No.39
平成27年12月発行
編集・発行/青山病院広報委員会

医療法人 青山病院

内科、胃腸科、循環器科、整形外科、外科、小児科、アレルギー科
リハビリテーション科、放射線科、**血液透析センター**
瀬戸市南山町1-53
TEL (0561) 82-1118
<http://www.seto-aoyama.jp>
小児科予約 <http://b.inet489.jp/aoyam1118/>



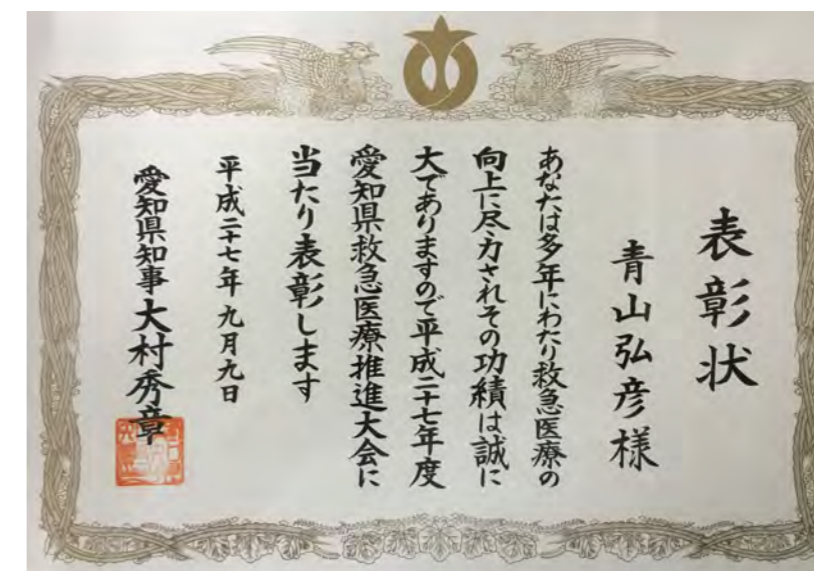
小児科予約用

基本理念

- ・思いやりと対話の医療を推進します。
- ・安全で納得できる医療を目指します。
- ・病める人々の権利とプライバシーを尊重します。

「救急医療功労者愛知県知事表彰」受賞

院長 青山弘彦



初代院長の故青山健夫が南山町に青山病院を創立して満57年が過ぎました。その間、病院に勤務してくれた職員の数は850名を超え、病院に協力して下さった多くの方々や関係機関のお蔭だと深く感謝しております。勿論、青山病院を信頼して来院して下さった多くの患者さまのご支援の賜物であることは言うまでもありません。その結果が評価されて今年、愛知県から救急医療功労の表彰を受けることができました。

夜中に看護師を呼び出して緊急で虫垂炎の手術をしたことも、溶鉄を全身に浴びた重症熱傷の患者さまを不眠不休で治療に当たったこともありました。また、一晩に100名を超える患者さまの診療に当たったことも今思えば懐かしい思い出です。あのころは内科も小児科も外科もなく、何でも屋でした。

今後も全職員が与えられた使命を全うすべく懸命に医療に励み、さらなる向上を目指して地域の皆さまの信頼に応えてゆきたいと思っています。

言語聴覚士について

リハビリテーション科 原田 雅也

「言語聴覚士」と聞くとみなさんどういうイメージを持たれるでしょうか。「言葉や耳に関する仕事をする人」といったように思われる方も多いと思います。実際に、失語症の方の言語治療を行ったり、時には耳鼻科などで聴力検査を行うこともありますが、このほかにも食事がうまく取れなくなってしまう（うまく飲み込めなくなってしまう）方に対し、再び上手に食事が取れるようにリハビリを行ったりします。

当院では、私はこの「嚥下」（飲み込むこと）に関する治療を中心に行っています。食事場面に立ち会い、ベッドサイドで食事の介助をしたり、ご自分で食べられる方にはむせずに安全に食べていただくための指導などを行います。「食べる事」は単に栄養を取ることだけではなく、楽しみの一つでもあります。食事がうまく取れなくなってしまう方が再び食事が取れるようになり、美味しそうに召し上がる姿を見ると本当にうれしく思います。これからも一人でも多くの方に「食べる喜び」を取り戻していただけるよう、患者様と一緒に頑張っていきます。

療養病棟で運動会を行いました

レクリエーションの時間を使って運動会を行いました。運動会は患者様も職員も毎年、楽しみにしている行事の一つです。患者様は赤組と白組に分かれ、皆さんハチマキをして参加しました。

種目は、「ボール運び」と「玉入れ」です。ボール運びは、患者様が横に並んで、ボールを送る早さを競います。僅差で赤組が勝ちました。玉入れは、床に置いたカゴの中に玉を入れていきます。なかなかの接戦でしたが、こちらも赤組が勝ちました。

患者様も私たちスタッフも大興奮の運動会、今年もみんなで大いに楽しみました。



AEDの講習会を開催しました

臨床工学科 吉村 寿朗

平成27年9月29日、10月1日の2回に分けて心肺蘇生法とAED（自動体外式除細動器）講習会を行いました。これは院内で臨床工学技士が中心となって毎年行っているもので、実際に人体モデルを使用し、心肺蘇生法やAEDの操作方法を実習しています。実際に触ることにより、処置に対する抵抗感を無くし、実際の現場に遭遇したときに、「いつ、どこで、だれでも」落ち着いて対応できるよう訓練することを目的にしています。このような講習会を定期的に関くことにより、緊急時の対応を再確認し、職員のスキルアップ、救命効果の向上に繋がっていただくと考えています。“最善の救命の実践”を考え、めざし、日々レベルアップに努めていきたいと思ひます。

今回の講習会は、医師、看護師はじめ、介護職員、リハビリスタッフ、事務員など多職種総勢96名の職員が受講しました。

～病院で見たあの道具～

これなあに？

病院で使われる道具を
クイズ形式で紹介します

この機械は何をするものでしょう？

ヒント

この機械は写真のように指にはめて使います。

答え

「パルスオキシメーター」という機械です。
指先で脈拍と、血液の酸素飽和度を測ります。
この機械は指にはめるだけで使えるので、測定に際して痛みなどはありません。

